

4/29  
30 Hirado City Photo News  
**平戸でワクワク・ドキドキの職業体験**



平戸文化センターを主会場に、「Kidsジョブチャレンジ2022 in 平戸」が開催されました。地域の仕事や魅力を伝え、将来を担う人材確保や観光活性化を目的に行われているもので、4回目となる今回は、お菓子や川内かまぼこ職人といった平戸ならではの仕事のほか、テレビ局やプロ野球選手、平戸市が連携協定を結ぶJALの客室業務など61種類のお仕事体験が行われました。ゴールデンウィーク序盤の2日間で延べ1,900人の子どもたちが、真剣な表情でチャレンジしました。

4/26 Hirado City Photo News  
**共同開発した新商品を報告**



農林水産省大臣室で、平戸瀬戸市場と日本料理の名店として知られる京都吉兆が共同で開発に取り組んだ「平戸地魚味噌漬」の完成を、金子農林水産大臣に報告しました。この商品は、平戸で水揚げされたマダイ、ブリ、ハタの切り身を、京都味噌や平戸の塩を使って独自の製法で漬け込んだ商品となっています。「平戸地魚味噌漬」は、平戸瀬戸市場で取り扱っているほか、平戸市のふるさと納税返礼品として活用されています。

4/22 Hirado City Photo News  
**根獅子の砂浜をきれいに**



根獅子海水浴場において、平戸高校生徒と根獅子小学校児童が合同で、海岸清掃を行いました。平戸高校の遠足に合わせ、高校生と小学生の交流事業として行われているもので、一昨年から新型コロナウイルス感染症の影響で中止となっていたため、3年ぶりの開催となりました。海岸には、流木や枯葉だけでなく、漁具や外国からの漂流ごみなどがあり、生徒たちは「夏には綺麗な根獅子の砂浜でたくさんの人に泳いでもらいたい」と、汗を流しつつ懸命に拾っていました。

5/1 Hirado City Photo News  
**庭園で平戸の歴史をしのぶ**



平戸松浦家35代熙（観中）が江戸時代後期に作庭した棲霞園・梅ヶ谷津倍楽園が一般公開されました。当日は市内外から多くの皆さんが訪れ、平戸歴史庭園保存機構（代表・永松義博南九州大学名誉教授）のスタッフによる解説を聞きながら庭園を散策しました。庭園を所有する松浦三枝子さんは、「これから庭園の周辺もきれいに整備し、お越しの皆さんが平戸の歴史に思いを馳せる憩いの場にしていきたい」と話していました。

5/1 Hirado City Photo News  
**安満岳の希少な生き物を観察**



安満岳山頂近くの池で、絶滅危惧Ⅱ類に登録されているカスミサンショウウオの観察会が行われました。池は、県内最大の産卵場所、安満岳の環境を後世にどう引き継いでいくか考えるきっかけとして、中野地区まちづくり運営協議会主催で開催されました。参加者は、実際にカスミサンショウウオの個体や卵などに触れ、生態について学びました。講師の松尾公則長崎女子短期大学専任教授は「県内でもこれだけ多くの産卵が見られる場所はない。池の環境を守ってほしい」と訴えました。

4/30 Hirado City Photo News  
**開園30周年を記念して**



たばら活性化施設で、たばら昆虫自然園開園30周年記念式典が行われ、関係者ら約60人が出席し節目を祝いました。式典では、解説指導員9人をヒーローに見立てた「昆虫戦隊ガイドマン」の紹介があり、隊長を務める森幹夫さんは「長崎県立大学の学生から若々しい名前をいただいた。名前に負けないよう精進したい」とあいさつ。開園にも携わった生物生態写真映像作家の栗林慧さんによる特別講演も行われました。園では、1年を通じて記念イベントを予定しています。

4/28 Hirado City Photo News  
**秘境のキャンプリゾート**



古江町の半元キャンプ場が、株式会社クオリティ・オブ・ローカルライフ・平戸が管理者となり、あらたに「WEST END CAMP」としてリニューアルしました。これまで、7、8月のみの利用でしたが、通年利用できるようになり、家具付きのデザインウッドキャビンやソロキャンプサイトなども整備され、ワーケーション利用や長期滞在も可能になりました。周辺の自然環境や宿泊者のみ利用可能なプライベートビーチでのアクティビティも充実しています。



5/15 Hirado City Photo News 寺社仏閣をジョギングで巡る



一般社団法人ジョグトリップ主催の「平戸島八十八ヶ所巡りジョグトリップ」が行われました。このイベントは、平戸島八十八ヶ所を地区別に「紫の道」「緑の道」「青の道」「赤の道」の4つに分け、八十八ヶ所に定められている寺社仏閣を走りながら巡るというものです。

4回目となった今回は、主に志々伎神社・沖の宮を含む最南端「紫の道」を巡るコースで開催。参加者は、志々伎浦漁港公園をスタートし、各ポイントに設置されたスタンプを集めながら走りました。

5/14 Hirado City Photo News 蔵開き限定酒を求めて



志々伎町の福田酒造で酒蔵開きが行われ、市内外のから蔵開き限定酒や焼酎などを求める人でにぎわいました。

この日は、蔵開き限定酒のほか、市内の菓子店「菓子工房えしろ」と共同開発した日本酒チョコなどの限定商品も販売。専用の酒器を購入しての試飲や2,000円以上購入した人には酒粕の詰め放題もありました。また、奥平戸物産展も行われ、南部地区活性化委員会による南部地区の特産品も販売されました。

5/3 Hirado City Photo News 春の白月のにぎわい



生月町の館浦漁協おさかな販売所裏の広場にて、「いきつき日曜白月市春まつり」が行われました。

伝統のいきつき春まつりの流れを引き継ぎ、毎月の「日曜白月市」の拡大版として、生月町玄関口活性化協議会により開催されています。

3年ぶりの開催となる今回は、マグロステーキ串など地場産品の販売が行われたほか、ステージでは北松農業高校の権現太鼓、猶興館高校のダンス同好会、平戸高校の吹奏楽部のパフォーマンスが行われ、会場は熱気に包まれました。

5/1 Hirado City Photo News できたてのかまぼこを片手に



川内町の中野漁協付近一帯で、「あつつあつつ川内かまぼこフェス」が行われました。

できたての川内かまぼこのふっくらやわらかい食感をたくさんの人に味わってもらおうと、中野漁協と平戸観光協会が企画したイベントで、市内外からの来場者でにぎわいました。

当日は、豪華景品があたる「なぞ解きイベント」や「特産品がその場で当たるガチャポン」などの催しもあり、多くの子どもたちがかまぼこを片手に参加の列に並びました。

5/22 Hirado City Photo News 満開のバラとコーラスの共演



徳川幕府の外交顧問を務めた三浦按針（ウィリアム・アダムス）の没後400周年事業の一環として整備されたANJINローズガーデン（崎方公園）において、ANJINバラ展が開催されました。

按針にちなみ名づけられた「ウィリアムアダムス」のほか50種類を超えるバラの紹介やバラ苗の販売が行われました。

また当日は、佐世保レインボーゴスペルクラブが、往年の名曲「バラが咲いた」を含む6曲を歌唱し、美しい歌声がバラとともに園内を彩りました。

5/21 Hirado City Photo News 利き酒で人気銘柄を飲み比べ



森酒造場で蔵開きが行われました。蔵開き限定酒の販売や酒蔵見学のほか、酒蔵内で利き酒大会も開催され、両日とも、平戸の地酒を求める人たちでにぎわいました。

利き酒大会では、4種類のお酒を飲み比べ、製品ごとの違いや製造上のこだわりなどについて詳しい説明が行われました。参加した人からは「毎年蔵開きに参加しているが、利き酒をしたのは初めて。飲み比べて、細かな違いを知ることができ、お酒の楽しみが広がった」などの感想が聞かれました。

5/3 Hirado City Photo News 3年ぶりに開催「平戸海道渡海人まつり」



平戸大橋公園特設会場で「平戸海道渡海人祭」が開催されました。3年ぶりの開催となった今回は、3日間とも好天に恵まれ、市内外から訪れた家族連れなどでにぎわいました。

会場には、地酒や海産物、菓子など平戸の特産品を販売する店舗が並び、来場者の長蛇の列ができていました。大人気イベントの「魚つかみ大会」や「GO！GO！タコつかみ」では、ハチマキを巻いた子どもたちが泳ぎ回る魚やタコをつかまえ、笑顔を見せていました。

